



今月の題字

平澤友莉亜ちゃん
(山田北小5年)

町のわだい

山田消防署と釜石海上保安部 合同訓練を実施 海上災害対応へ連携強める

山田消防署と釜石海上保安部の合同訓練が2月22日、山田漁港で行われました。これは海上災害への対応強化のため実施されたもので、同訓練には両機関から53人が参加。山田魚市場前に着岸中の漁船から火災が発生したとの想定で、両機関が協力し合い船体冷却消火訓練や、船内に取り残された人の救出訓練に取り組みました。救出訓練では、船内から運び出された救助者に船上で応急処置してから担架で運ぶなど、きびきびとした動作で救出作業に当たっていました。



山田中地区 自主防災会を設立 地域を守る活動へ住民一丸

「山田中地区自主防災会」の設立総会が2月20日、町中央コミュニティセンターで行われました。地域の連帯感を深め、災害発生時の被害防止や軽減を図ることを目的に設立されたもので、八幡1～7区と中央1～4区の342世帯867人が対象となります。総会には対象地区の住民28人が出席し、役員を選任や予算について協議。本部長には中央町の東海林博さん(61)が選出されました。同会では主な活動として、平常時には地域の交流を深めながら防災に関する研修会や防災訓練を実施し、災害時には避難誘導や初期消火活動などを行うとしています。

効率的な執行目指し再評価 豊間根簡水事業は「継続」に

2月23日、山田町水道施設整備事業評価委員会(委員6人)が町中央コミュニティセンターで開かれました。これは公共事業のより効率的な執行と透明性の確保のため、事業の実施5年ごとに開かれるもので、当日は委員4人が出席。委員長に阿部幸栄さん(山田町商工会長)、副委員長に佐々木實さん(山田郵便局長)を選出し、事務局から現在行われている豊間根簡易水道事業の進捗よく状況や費用対効果などの説明を受け、事業の継続、見直しについての検討が行われました。その結果、同委員会ではこの事業は継続するべきものであるとの結論に達しました。

